

【相談】

1 がまごおり子育て応援アプリ「うーみんなび」

市の子育て情報を、保護者が手軽に入手し、活用できるように令和元年度より配信を開始している。

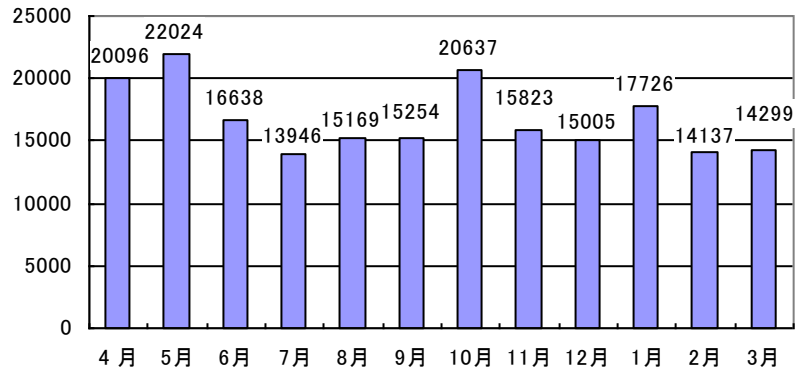
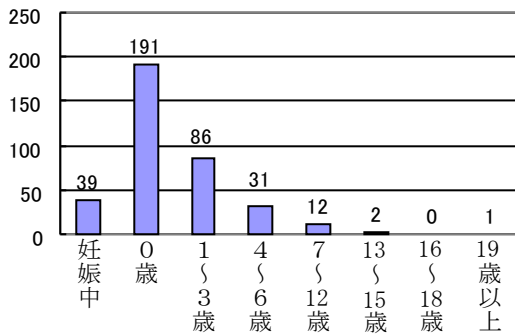
<実施状況>

- (1) 対象者 市内在住の妊娠中～18歳までの子育て中の保護者
 (2) 周知 予防接種の案内（初回・MR2期）にちらし同封
 母子健康手帳交付時・乳幼児健診時に案内、ホームページ
 (3) 内容 子育て支援情報の配信、母子健康手帳項目の記録、施設検索
 予防接種のスケジュール自動生成及び情報配信、市からの情報配信
 カレンダーへ健診・教室・イベントの掲載

<実施結果>

- (1) 総登録者数 3,094人（うち保護者1,549人、子ども1,545人）
 うち新規登録者数 671人（うち保護者 308人、子ども 363人）
 (2) 子どもの登録時年齢 (3) アクセス数

(人)



- (4) 配信内容 (件)

配信内容	配信方法		
	お知らせ	メール	プッシュ通知
子育て情報	7	7	2
イベント	5	3	2
定期配信(種類)	3	4	1
コロナ関連情報	5	7	1
合計	20	21	6

2 不妊治療費助成事業と不妊相談

子どもを望んでいるが、子どもに恵まれず不妊治療を受けている夫婦への支援として、経済的負担の軽減と少子化対策の充実を図ることを目的に実施している。

<実施状況>

- (1) 対象者 申請日において次の要件を全て満たすもの
 ①法律上の婚姻をしている夫婦または事実婚関係にある者
 ②不妊症と診断され、その治療を受けたもの
 ③夫婦のいずれか又は両方が市内に住所を有するもの
 ④医療保険加入者(生活保護は例外とし含むが、保険適用外治療のみ対象)
- (2) 対象治療 一般不妊治療
- (3) 周知 健康ガイド、ちらし配布、広報、ホームページ等
- (4) スタッフ 保健師
- (5) 助成額 治療に要した本人負担額の2分の1以内の額で、上限5万円以内
- (6) 助成期間 期限なし
 助成の対象となる年度は、3月診療分から翌年2月診療分までの1年間
- (7) 不妊相談 精神的な不安を軽減するため電話・面接・メール等で相談を受ける

<実施結果>

- (1) 助成実績 助成組数 64組／助成金額 1,969,000円
- (2) 受診医療機関 13施設 (市内3 市外10)
- (3) 通算申請回数 78回 (一組あたりの申請回数1.2回)
- (4) 申請者平均年齢 夫：35.4歳 妻：34.1歳

3 未熟児養育医療給付事業と相談

養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行うことで経済的負担の軽減を図ることを目的に実施している。県から移譲され、平成25年度より実施している。

<実施状況>

- (1) 対象者 未熟児及び指定養育医療機関の医師が入院養育を必要と認めたもの
- (2) スタッフ 事務職員、保健師
- (3) 周知 健康ガイド、ホームページ等
- (4) 内容 養育医療の給付
 対象児の状況把握と保護者の相談

<実施結果>

- (1) 受給者内訳(新規) (人)

出生時の体重	1,000g以下	1,001～1,500g	1,501～1,800g	1,801～2,000g	2,001～2,300g	2,301～2,500g	2,501g以上	計
実人数	0	1	2	6	5	0	2	16

- (2) 給付実績 給付者数 17人／給付額 4,270,165円
 ※給付者数は、令和2年度から継続して入院している人数(1人)を含む

4 子育て相談

4-1 子育て相談

育児不安を軽減し、保護者が自信を持って子育てできるように個別相談を行っている。

<実施状況>

- (1) 実施日時 毎月第1木曜日（年9回・中止3回）午前9時30分～11時30分
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 乳幼児とその保護者
- (4) スタッフ 保健師3人、管理栄養士、看護師、歯科衛生士（随時）
- (5) 周知 広報、健康ガイド、ホームページ、うーみんなび等
- (6) 内容 計測、育児全般の個別相談

<実施結果>

参加者数

(人)

実人数			延人数			1回の 平均人数
乳児	幼児	計	乳児	幼児	計	
38	31	69	64	70	134	14.9

4-2 子育てフェスティバルにおける子育て相談

子育て支援課が実施主体のイベント「子育てフェスティバル」の中で、平成29年度よりイベント参加者が気軽に相談できる場として「子育て相談」を実施している。

<実施状況>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止